

9期生

# 忘年会



2010年12月18日(土)、9期生の忘年会が開催されました。当日は、9期生60名が集い、社会人学生同士、お互いの修学状況を語り合いながら、楽しい時間を過ごしました。歓談の合間にはビジネスシミュレーションのチームごとの自己紹介や、ビンゴゲーム、最後は立教大学第一応援歌の大合唱が行われ、盛況のうちに終了しました。

この忘年会をきっかけに、親交が深まった方も多ようです。開催に際し、ご協力・ご協賛いただいた方々、誠にありがとうございました。

なお、忘年会に際し、一部の方に伺いました「おすすめの講座及び2年次に予定している選択必須科目」のインタビュー結果は、右記のとおりです。

おすすめの講座については、クリティカル・シンキングとリーダーシップ論が複数名の回答があったほかは、複数名が回答した講座はなく、裾野の広さが伺えました。

また、2年次の選択必須科目については、忘年会開催時点では、修士論文を予定している方が多数を占めました。

## おすすめの講座

クリティカル・シンキング..... 4人  
リーダーシップ論..... 2人  
その他の講座..... 15人

## 2年次に予定している選択必須科目

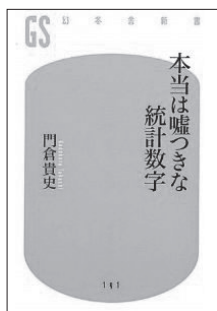
(2010年12月18日時点)

修士論文..... 13人  
調査研究レポート..... 4人  
ビジネスプラン..... 3人  
未定..... 1人

(忘年会出席者のうち21名に対する会場内でのヒアリング調査)

## 書籍紹介

# Biz Com 編集部が選ぶお薦めの1冊



## 本当は嘘つきな統計数字

著者：門倉 貴史

出版社／幻冬舎新書 2010年11月刊

統計学や調査法を履修した方、またこれから履修しようと考えている方にお薦めの一冊。統計数字に潜むウソの謎解きが、身近なテーマでテコ盛りで紹介されています。まず最初に、「なぜ東京に美人が多いのか?」「長寿村から長生きの秘訣は得られない」「世界一の美容整形大国はどこか?」「最も会社に行きたくないのは何曜日?」というテーマから、統計データの裏には、ミスリーディングのワナに陥るリスクが潜んでいることをひとつひとつ暴いていきます。

そして、統計データの作成基準やバイアスをきちんと把握した上で

丹念に統計データを読み込み、場合によっては自らの手で二次加工しないと、データの裏に隠れている真実を引き出せずに終わってしまう可能性にも警告を発しています。

そして様々な統計データ・アンケート調査・世論調査から、これらのデータがどこまで信用できるのか、調査結果をどのように解釈すればいいのか、どのような場合にデータをミスリーディングしやすいかを詳細に検討していきます。

あとがきでは、「人は自分の信じやすいことだけ信用する」傾向を指摘し、認知の歪みを直すことは容易ではないが、人間にはそうした歪みがあることを知っているだけでもワナに陥るリスクが小さくなる、と結んでいます。

私には、主観確率といわれる「ベイズ統計学」の説明部分がとても新鮮でした。(桐畑)

## ビズコム 編集後記

あと1年もない! 全力でビズコムとゼミと論文がんばります!  
岡本あゆ子

冬に植えた球根達が花開く頃。心新たに記憶と記録にチャレンジ。  
桐畑 博史

RBSもあっという間に1年が経ちました。これからの1年、RBSとの出会いを大切に、修士論文とビズコム編集委員を頑張りたいと思います。 小俣 雅邦

MBA1年目はあっという間だった。2年目はもっと計画的にしないと... (汗)  
山口 毅

編集は大変でしたが、インタビューで藤田さんの人柄に触れ感激!  
村瀬 由佳

13年間、苦楽を共にしてきた愛車とお別れしました(涙)  
花井 英光

立教大学大学院 ビジネスデザイン研究科  
**BizCom Vol.39**  
[ BizCom ] 2011年5月12日発行

■発行責任者：青淵 正幸 ■編集長：岡本 あゆ子 ■副編集長：桐畑 博史 ■編集委員：(9期生)小俣 雅邦、山口 毅、村瀬 由佳、花井 英光  
■デザイン：小村 彩子 ■印刷：藤原印刷株式会社 ◆「Biz Com」次号の発行は2011年7月の予定です。※本紙掲載記事の無断転載を禁じます。

「Biz Com 編集部員によるリレーブログ「BizComCafé」 <http://bizcom.dtiblog.com/>